

## 特別支援学校（病弱教育）小学6年

### 「社会にドキリ」を活用したはじめての公民～主体的で対話的な深い学び～

東京都立光明学園 病弱教育部門 主任教諭 川口 尚人

#### 【実践報告の概要】

新学習指導要領では小6の公民は単元が入れ替わり、歴史の前に学習することになった。5年生までの学習と違って日常生活とかけ離れていてイメージがつきにくい公民。「社会にドキリ」を視聴することで日常生活の中につながりがあることがよくわかる。在籍が1名なので、番組と対話するように、番組から発展させて自分が知りたいことを調べる方法もわかり、深い学びができるようになる。(10時間扱い)

【キーワード】 #税金 #国民の権利 #国民の義務

#### 【取組の具体】 準ずる教育課程小学部6年社会(公民)

単元名「憲法と私たちの暮らし」

本時4/11『税金～権利と義務～』

**ねらい** 税金を通して国民の権利と義務を理解する。

1. 日本国憲法の3つの柱を思い出す。
  - ・今までの学習の振り返りと本時のねらいの確認。(日本国憲法の国民主権と基本的人権について)
2. NHK for School「社会にドキリ」第4回『税金～権利と義務～』を視聴する。
  - ・一斉視聴。今回は児童が1名なので、大型モニターでも各自のタブレット端末でも、本人の希望する方で視聴する。
3. ワークシートに沿って書く。
  - ・分からなくなった場合を考えて、あらすじや静止画をプリントアウトしておき、適宜提示する。
4. 税金の納める義務について、考えたことを書き、発表する。
  - ・自分の言葉で書けるようにする。
5. 本時の学習の振り返り、まとめ。
  - ・自分の考えと感想を書き、発表する。



タブレット視聴の例

#### 【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組「社会にドキリ」

小学校6年生が「社会」を身近に感じ、学ぶモチベーションを高めるための10分間の教育番組。「難しい、関係ない」と感じていた決まりや仕組みが、身近な暮らしの中にあふれていることに子どもたちが、社会の仕組みを主体的に考え、積極的に関わろうとする心を育む。(webサイト番組紹介引用)

- 小学生の公民の番組が今までなかったので実態に合っていて6年生には扱いやすい。
- 各回に設けられているワークシートがアクティブ・ラーニングを想定して使いやすい。
- 初めて公民を学習する6年生に具体的でわかりやすいエピソードになっている。

#### 【本実践における工夫点】

主体的で対話的な活動の保障

- ・主体的に調べ学習ができるように、キーワードをいくつか挙げ、検索しやすいようにしておく。
- ・1名の授業なので、教員が話し相手になって思考を深められるように工夫する。

ワークシートの効果的な活用

- ・児童の実態に合わせてワークシートを工夫する。今回は同サイトにあるワークシートが非常に使いやすいのでそのまま利用した。できれば本時の授業自体の感想まで書けるとよい。
- ・いつも授業で使っているワークシートを今回用に変えて使用することもできる。

自分の考えや感想が書けない児童に対する配慮

- ・児童の実態や授業の特性に合わせてワークシートを工夫して作成することが望ましい。児童も思考を働かせている様子が見受けられる。そのためキーワードを単語レベルで発表させ、出てきた言葉から1問1答形式で思考を深める。出てきた言葉を板書することで文章構成にもつなげることができる。

#### 【本実践の成果と課題】

- 初めての公民でも本番組を視聴して同サイトから簡単に検索でき、スムーズに活動することができた。
- ワークシートや授業をパターン化することで、授業進行の流れがイメージでき、主体的な活動が増えてくる。
- 在籍児童が1名、児童間の話し合いができない。他学年や他校との交流授業をいろいろな場面で設定して刺激になるようにする。